

www.***.com

湖東圏域における終末期ケアに関する実態調査を実施して

湖東健康福祉事務所（彦根保健所）

湖東圏域医療福祉ビジョン

～どんな状態でも、自分らしくいきいきと暮らせるための安全安心な在宅医療福祉の仕組みのある地域を目指して～

湖東圏域では、どんな状態でも、自分らしくいきいきと暮らせる、安心安全な在宅医療の仕組みがある地域をめざして、健康・医療・介護の「現状」と「課題」、「取り組み目標」をまとめた「湖東圏域医療福祉ビジョン」を策定（平成24年2月）しました。

「医療福祉を推進する湖東地域協議会」では地域の医療・福祉・住民・行政などの関係機関や団体が協力し、ビジョンの実現に向け医療福祉を守り育てる取り組みを進めています。

医療福祉を推進する湖東地域協議会 構成団体等

彦根医師会・彦根歯科医師会・彦根薬剤師会・彦根市立病院・彦根中央病院・友仁山崎病院
豊郷病院・彦根愛知犬上介護保険事業者協議会・滋賀県看護協会第5地区支部・滋賀県老人福祉施設協議会湖東ブロック・彦根愛知犬上介護支援専門員連絡協議会・彦根市社会福祉協議会・住民代表・彦根市・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町・滋賀県湖東健康福祉事務所

希望する場所での看取りが可能な地域づくりの推進のために。。。

目標

1 医療福祉関係者が、それぞれの立場で看取りについて、本人、家族の意見を把握し、その意見を集約した上で、地域の課題・ニーズを整理する。

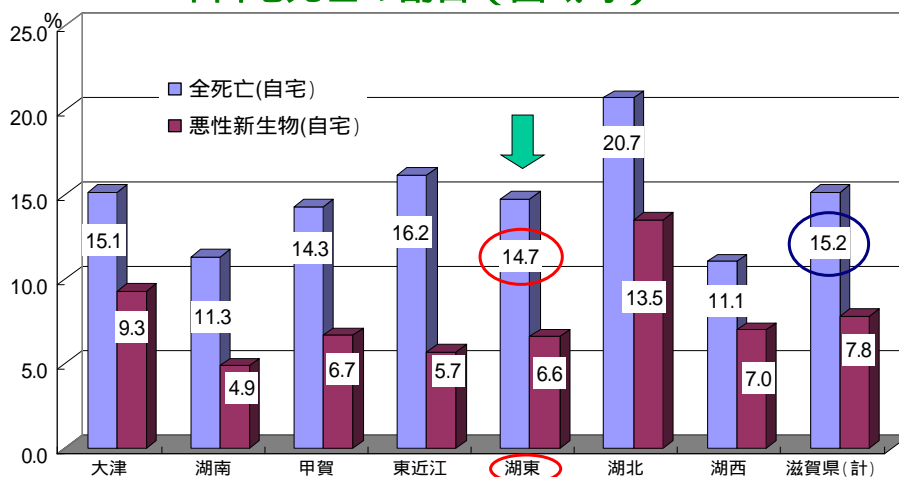
2 住民や医療福祉関係者が、死について向き合うことの大切さを理解し、看取りについての理解を深める。

3 老いること、死ぬことが当然のこととして受け入れられる講演会等を開催し、在宅での看取り等について学ぶ機会を設ける。

4 急変時に対応できる24時間往診可能な体制など看取りを行うことのできる体制整備
 ・緊急入院が必要なときの病院との円滑な連携
 ・介護老人保健施設やグループホーム等の多様な場所での看取りの体制の整備など看取りの支援の充実

1. 滋賀県湖東圏域の現状

H22年自宅死亡の割合（圏域毎）



希望する場所での看取りが可能な地域づくりの推進のために。。。

目標

関係者が在宅ホスピスケアの支援体制の推進に向けて合意できている

関係機関が在宅ホスピスケアを支援する体制がとれる

住民や関係者が死生について向き合うことの大切さや在宅での看取りについて理解している

関係者が力量を高め、自信を持って支援できる

取り組み

医療福祉を推進する湖東地域協議会

湖東圏域在宅ホスピスケア推進会議

地域・住民啓発

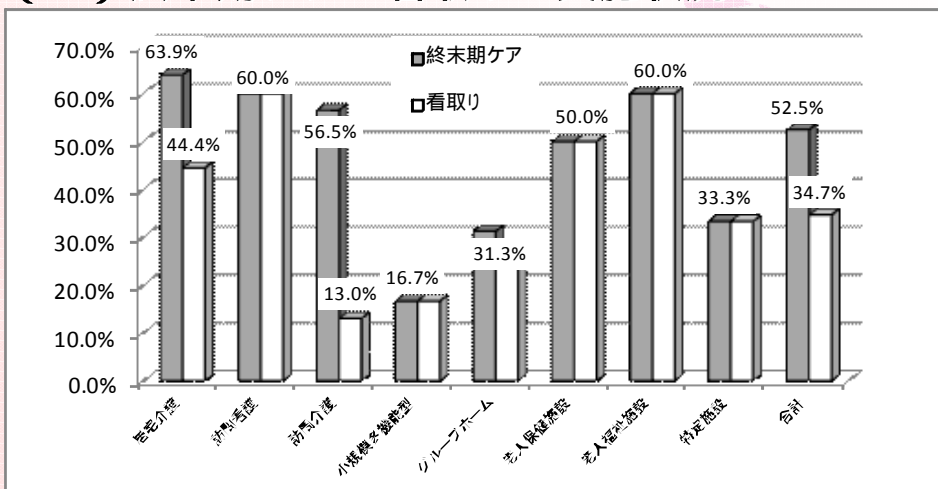
関係者向け研修会

湖東圏域在宅ホスピスケア実態調査（12月）
内容：介護保険事業所（居宅・施設）への看取りに関する実態調査の実施

住み慣れたまちで安心して看取りを迎える
市民のつどい 開催
平成24年12月1日（土）

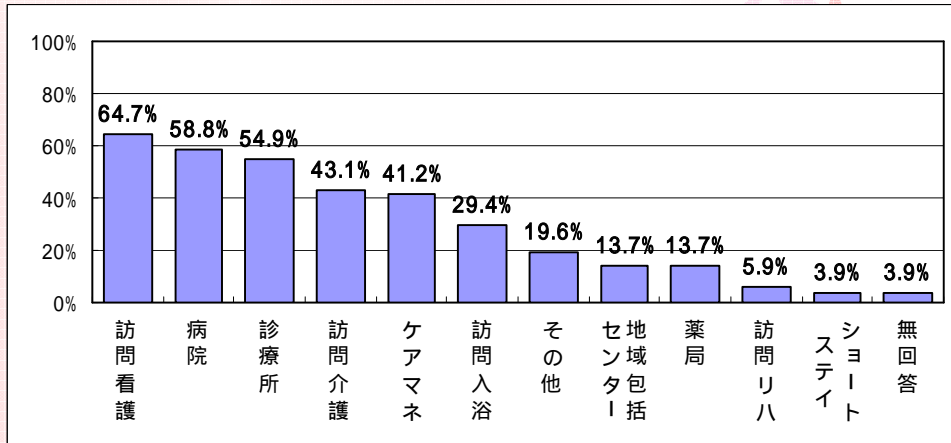
3. 結果

(1) 終末期ケア・看取りの実施状況



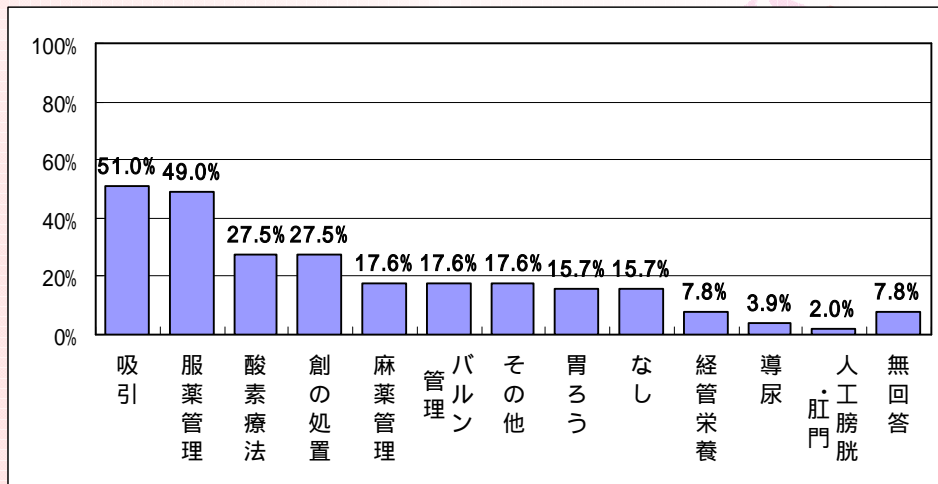
(1) 終末期ケア・看取りの実施状況

連携機関



(1) 終末期ケア・看取りの実施状況

終末期に行われていた医療処置の内容



(1) 終末期ケア・看取りの実施状況

終末期ケア・看取り支援を実施しての問題点

* 居宅系 *

介護する家族の負担が大きい

本人の意思確認が十分できない

症状が急変したときの対応が不安である

* 施設系 *

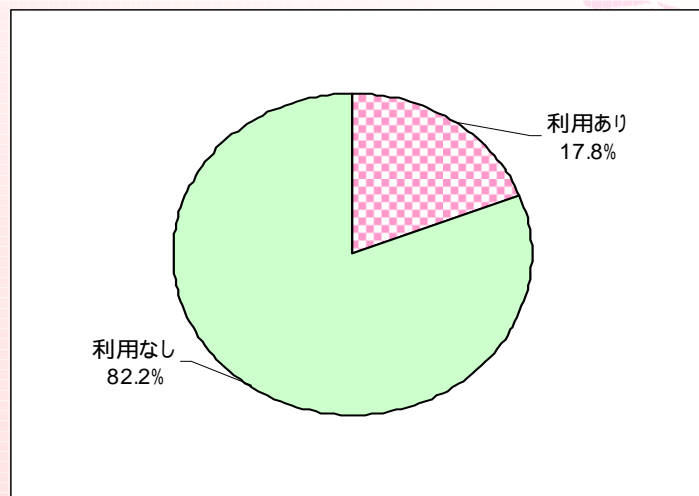
本人の意思確認が十分できない

症状が急変したときの対応が不安である

痛みのコントロールが難しい

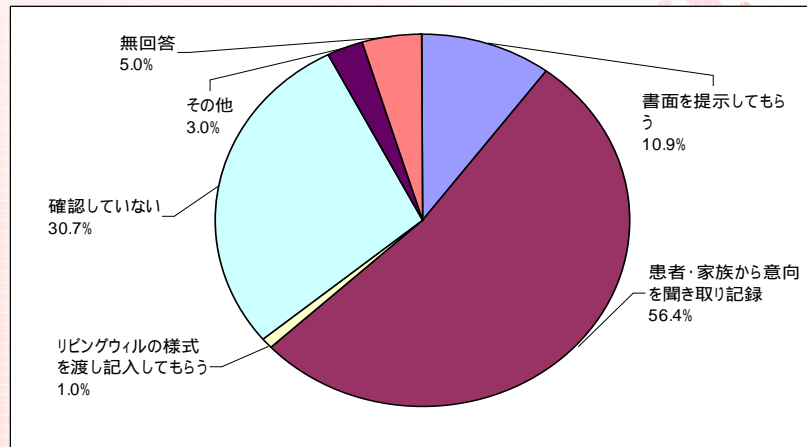
(2) 施設における終末期ケア・看取りの実施体制

ガイドライン等の利用状況



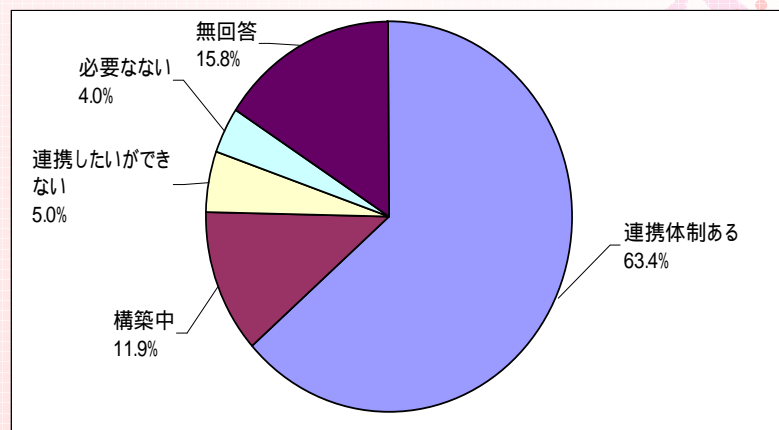
(2) 施設における終末期ケア・看取りの実施体制

リビングウィルの確認状況



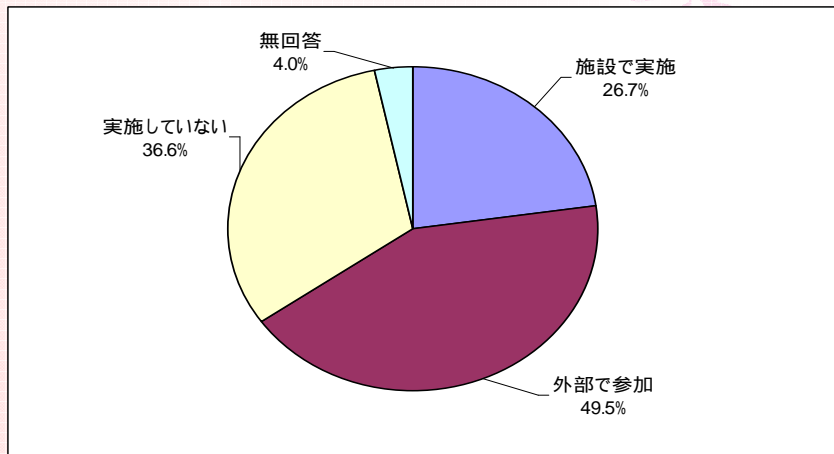
(2) 施設における終末期ケア・看取りの実施体制

急変時の医療機関との連携体制



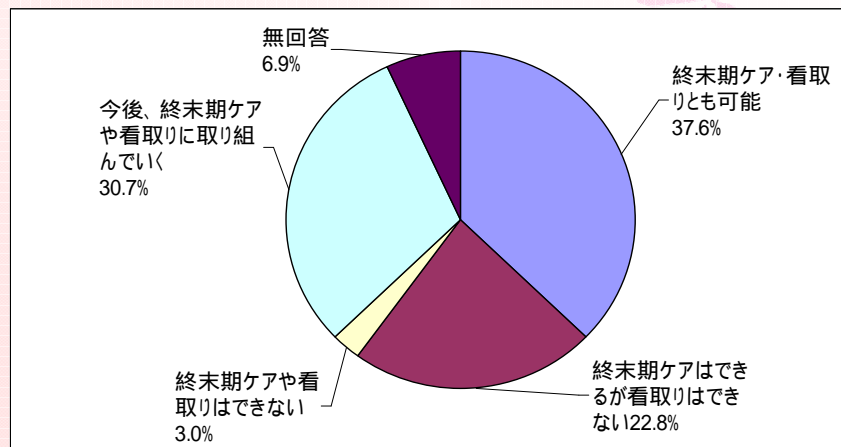
(2) 施設における終末期ケア・看取りの実施体制

職員の研修体制



(2) 施設における終末期ケア・看取りの実施体制

終末期ケア・看取りについての今後の対応



(3) 終末期療養支援体制上の課題

* 居宅系 *

介護する家族の負担が大きい

症状が急変したときの対応が不安である

かかりつけ医の往診が困難

* 施設系 *

症状が急変したときの対応が不安である

支援者側の人員体制の問題

終末期ケアについて支援者の知識が不十分

4 . 考察

課 題

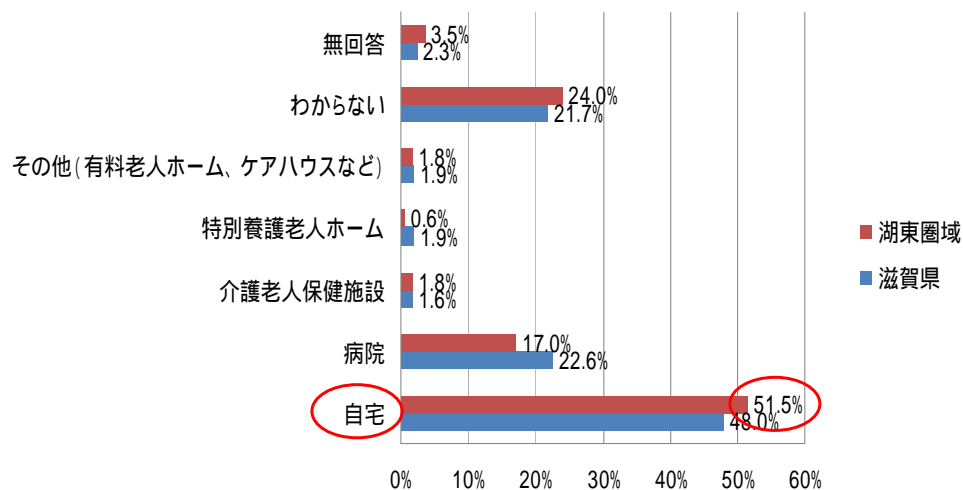
- 本人の意志の確認が十分にできない
- 介護する家族の負担が大きい
- 症状が急変した時の対応が不安
- 終末期ケアについての支援者の知識不足

4 . 考察

今後の取り組み

- リビングウィルの普及啓発
- 介護負担が軽減されるレスパイト支援の充実
- 急変時の対応等医療提供体制の充実
- 終末期ケアについての支援者の資質の向上に向けた研修

人生の最期を迎えたい場所



平成24年 滋賀の医療福祉に関する意識調査より

希望する場所での看取りが可能な 地域づくりの推進のために。。。

目 標

① 医療福祉関係者が、それぞれの立場で看取りについて、本人、家族の意見を把握し、その意見を集約した上で、地域の課題・ニーズを整理する。

② 住民や医療福祉関係者が、死について向き合うことの大切さを理解し、看取りについての理解を深める。

③ 老いること、死ぬことが当然のこととして受け入れられる講演会等を開催し、在宅での看取り等について学ぶ機会を設ける。

④ 急変時に対応できる24時間往診可能な体制など看取りを行うことのできる体制整備
・緊急入院が必要なときの病院との円滑な連携
・介護老人保健施設やグループホーム等の多様な場所での看取りの体制の整備など看取りの支援の充実